

# 平成29年度 入学式 学長告辞

## 激動の社会を生き抜く、人間力を付けよう！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ、福山大学においでくださいました。福山大学教職員一同、そして在学生一同、このように大勢の新しい仲間を迎えることができたことをこころから喜び、こころから歓迎します。また、ご臨席のご家族の皆様には、ここまで育て、そして福山大学へと物心両面でご支援いただきましたこと、こころより感謝申し上げます。新入生とご家族の皆様のご期待に十二分に応えて、これから卒業までの期間、新入生の皆さんの広範な人間形成に向け、教職員一同全力を挙げて取り組む所存です。ご家族の皆様には、引き続きの物心両面でのご支援をよろしく願いたします。

さて、皆さんは本日、福山大学に入学しましたが、ここで何を学びますか。今、日本はグローバル化の波にさらされ、少子高齢化による生産人口の急減に直面し、また取り巻く世界を見れば暴力と混沌に翻弄されており、平穏で安泰な社会とはいささか隔たりがあります。しかも、このような傾向は一時的なものとは考えがたく、皆さんが本学で学び、卒業して社会で活躍する間にも一層強くなる可能性があります。人間社会の進歩、すなわち多くの人が物質的にも精神的にも豊かになり、かつ多様な価値観を人々がお互いに尊重して共に生きていくというような社会は、社会を担う人々のためめぬ努力と協力がなければ、すぐに後退するのです。したがって、多くの若者が大学へ進学する時代になったとはいえ、まだまだ高校生の半数しか大学に進学しない現代、こうして福山大学に入学した皆さんは、社会全体に対しても大きな責任を持っていると自覚して、意義深い大学生活を送ってほしいと思います。すなわち、他者と協力しながらも自分の力で生きていく、さらに他者を助け、社会に貢献する人間として生きていく、そのような人生を歩むための基礎的な力を福山大学に在学している間にしっかり身につけていただきたいのです。そのためには、皆さんが選んで入学してきた学部・学科の提供する専門的知識と技能はもちろん、もっと一般的な力である思考力、判断力、表現力、さらに主体性、協調性、他者への思いやりや高い倫理観といった態度までも学び、身につけてください。すなわち、次に述べる「全人教育」です。

福山大学は1975年に開学し、卒業生総数は約34,000人で、その中から備後地域を中心に、全国の様々な地域でリーダーや中核となる人材を数多く輩出しています。創設者による建学の精神は、「地域社会に広く開かれた大学として、学問のみに偏重するのではなく、真理を愛し、道理を実践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育」ですが、この精神を実現するために、近年では仲間とともに、それでもできれば少々異質な仲間も含めて仲間とともに自ら課題を見つけ、解決方法を考え、実践して失敗を繰り返してそれを乗り越え、自分たちなりの解

決に至るという課題解決学修に代表されるようなアクティブ・ラーニングが、どの学部・学科でも、あるいは課外活動としても、とても盛んに行われています。海外研修やインターンシップもアクティブ・ラーニングです。入学を機に、勇気を持ってアクティブ・ラーニングに飛び込みましょう。未知のことへの多少のチャレンジ精神、失敗してもくじけない少し強い意志、そして仲間との助け合いの精神も少々必要ですが、課題を仲間とともに乗り越え、成果を手にしたとき、皆さんはちょっとした成功感と小さな自信を手にするはずで。これを4年間あるいは6年間積み重ねることにより、卒業時には福山大学卒業生として、他者への思いやりの精神を伴った強い人間力を持って卒業することになるでしょう。

さて、コンピュータ、IT技術、人工知能、ロボット等の急速な進歩は、第4次産業革命の段階に入ったともいわれ、人の働き方に非常に大きな変革を迫りつつあります。けれども、たとえば人工知能のロボットが囲碁の名人に勝ったとき、誇らしく喜んでいるのはロボットではなく、そのロボットを開発した人々のグループです。ロボットが囲碁の名人に勝ったことの意味を考えるのも、ロボットではありません。皆さんが大学を卒業して、それぞれの地域や部署で中核となって働く頃、コンピュータリゼーションはますます進んでいるでしょう。そのようなとき、人には人でないといけないことを成し遂げる能力や感性、自らの行為の意味を考え内省する力、そして人と人とのつながりを作り育てる力が、今以上に強く求められるようになるのです。専門的知識と技能を学ぶだけでは、不十分な理由がここに 있습니다。大学という学びの場は、もっとも幅広く柔軟な知力と人間性に満ちた態度を身につけることのできる場です。在学中には是非、課題解決学修に代表されるアクティブ・ラーニング、すなわち主体的学修に仲間とともに果敢に取り組んで、新たな価値を創造する喜びと興奮を経験していただきたいと思います。

このように、学び方も学ぶ内容も高校時代の延長ではなく、新しい挑戦として少し頑張っ、豊かな大学時代を過ごされることを心から期待し、そして私たち教職員は、皆さんが誇りと自信を持って卒業できるように、皆さんの日々の学びを惜しみなく支援することをお約束して、入学式告辞とします。



平成29年4月3日

福山大学 学長 松田 文子